



現場を経験し「警察学校」の存在理由も理解。

環境の変化による新しい発見の毎日！

【ケース1】 経歴6年弱

警察学校はとにかくきびしかった…。

小さいころから警察官に憧れていたという訳ではない私。

大学を卒業後、警察学校に入校した当時、体力は十分ではありませんでした。

身長も155センチと小柄。重たい楯を持って走る訓練は大嫌いでした。

でも、現場に出たときに、その訓練を含め警察学校が「自分を育ててくれた」と実感しました。

警察学校には、警察官として求められる人物像を作る全てが凝縮されていると今だからわかります。

初任科（採用後、警察学校での教養課程）時は、そんな風には到底考えられない激動の日々でしたが、現場で頑張れるのは警察学校のおかげ！

【ケース2】 経歴5年弱

警察学校も含め経歴丸4年で、初めての部署異動。

交番では女性と一緒に働くことはほとんどなかったところから一転。

周りの勤務員は女性ばかりの環境に変わりました。

部署によっては一緒に働く仲間が女性同士ってこともあるんです。

交番勤務は地域の方と密接にかかわる分、やりがいを感じやすいけれど、今の業務は「イメージしていた警察官の仕事とは違う」というのが正直な感想。

それでもそれぞれの業務に意味があることを気づく毎日。

交番勤務では沢山経験も積んでそれなりの自信を持って勤務できていましたが、環境の一新で『新鮮さ』継続中！

これからもどんな経験ができるのかワクワクです！



自分の不得意や欠点も、努力次第。

「相応しい自分」になることも大切！

【ケース9】 経歴7年

警察官の仕事には「犯人を逮捕する」「取調べをする」といった内容とは違う、アイデア力が勝負になる仕事もあるんです。

法律やルールを知っていただくための教室を開くときには、聞いてくれる人の年齢などを考慮して色々な工夫をします。教材や小道具なども自作するんです。

「どんなものを使って伝えれば、よく理解してもらえるだろうか」と考えたり、流行りの歌やダンスなど「警察官の仕事と無縁」に感じられるものでも、皆さんに馴染みがあるものだと受け入れてもらえるかな？と考え、視野を広く持つようにしています。

センスが問われる仕事はあまり得意ではなかった私ですが、喜んでくださる姿や「楽しく教室に参加できた」との感想をもらえたときは「私にぴったりの仕事♪」と実感できます。

【ケース10】 経歴4年

私はイレギュラーなことが起こるとテンパってしまう性格・・・。

最初に勤務する交番では、様々な110番対応があるのでイレギュラーの連続です。実際に、自分のキャパを越えてしまうこともありました・・・。

周りに迷惑をかけてしまう自分に落ち込みましたが「どうすれば自分の欠点をカバーできるか」を考えました。

そこで、「ありのままの報告・相談」をスピーディーにすることを徹底しました。そうすることで、上司から具体的な指示をしてもらうことができ、周りのみんなも手助けしてくださり、次第に落ち着いて事案を対処できるようになっていきました。

今でも欠点はあると思いますが「素直に意見を聞き、どんなことも逃げないで対処しようとする姿勢は良い」と上司から褒められたときは嬉しかったです。